



# 橋本キリスト 教会便り

誰が一番偉いのか？

2024.9.4

パリでオリンピックがありました。9月8日までのパラリンピック閉幕まで、様々な競技で様々なドラマ、感動の場面を目にしたと思います。オリンピックでは金メダル、一番になることを目指して参加している人がほとんどでしょう。

イエス・キリストには12人の弟子がいましたが、互いの中で誰が一番偉いのかと論じあったことを聖書は伝えています。そのときイエス様は「だれでも、このような子どもを、わたしの名のゆえに受け入れる人は、わたしを受け入れるのです。また、だれでもわたしを受け入れる人は、わたしを遣わされた方を受け入れるのです。あなたがた皆の中で一番小さい者が、一番偉いのです。」(ルカの福音書9章48節)と教えました。

イエス様の言葉で気になるのは「あなたがた皆の中で一番小さい者が、一番偉い」と語ったことでしょう。このとき「子ども」も一緒にいたことがイエス様の言葉からも分かりますが、「このような子どもを、わたしの名のゆえに受け入れる人」とは、どんな人なのでしょう？一般に「子ども」は可能性の塊ですが未熟で訓練や経験で成長する前にいるといえます。そのため「子ども」は「受け入れる」とき「面倒だ」とか「手がかかる」などのマイナスな感情も生じやすいと思うのです。そんな「子ども」を「わたしの名のゆえに受け入れる」とはどういうことでしょうか。自分の思い、感情、事情などを脇に置いて、イエス様に従う者として「子ども」を「受け入れる」ということです。しかしイエス様に従うことを自分の感情や思い以上に優先にすることは簡単ではありません。意思の力だけでは無理です。

でもイエス様の言葉は「だれでもわたしを受け入れる人は、わたしを遣わされた方を受け入れるのです」と続いていて、「わたし」イエス様「を受け入れる人」は「わたしを遣わされた方」神様を受け入れることにもなると告げています。(裏へつづく)

「神様」は人間とは別格の存在を表す言葉です。私たち人間には様々な限界があり、弱さもあります。そんな私たちがイエス様を受け入れたことで、神様も受け入れるのですから、私たちは神様に従うことになるのです。神様は全知全能ですから、神様に従う人は「一番小さい者」でありつつ、全てのことをわきまえることが出来ることになります。

結果、「一番小さい者」と認めた者が神様を受け入れることにより「一番偉い」という、逆説的な真理を教えているのです。私たちは「一番偉い」者であろうとすると、人と比較して自分の強み、優れているところを誇ることに進むでしょう。しかし、イエス様を受け入れ、神様も受け入れて従うとき、全知全能の神様の指示に従う「一番偉い」とされるのです。自らを誇らず「一番小さい者」として、子どものように神様の前にへりくだることは、弱いこと、情けないことのように感じる人もいます。しかし、全能の神様に味方になっていただく以上に「一番偉い」者になる道はありません。

© 橋本キリスト教会

- 新型コロナウイルス感染症対策しながら礼拝を行っています。  
(オンラインストリーミング礼拝併用) 詳しくは教会までお問い合わせください。

✉ hashimoto.ch@gmail.com

教会 HP へは  
ここからアクセス



日本福音キリスト教会連合  
橋本キリスト教会  
JECA HASHIMOTO CHRIST CHURCH

牧師：牧野広隆  
MAKINO HIROTAKA

☎ 042-782-6223  
〒252-0102 相模原市緑区原宿5-8-4

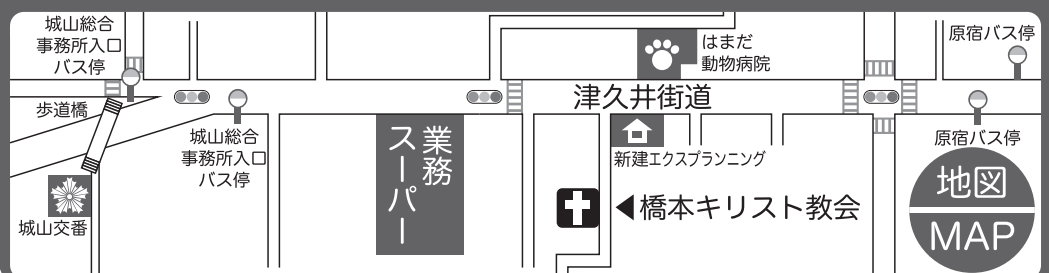


橋本駅からの交通案内 北口バス停から三ヶ木方面行きバスで約15分

「城山総合事務所入口」バス停から徒歩約 3分

「原宿」バス停から徒歩約 5分

お越しの際は駐車スペースに限りがございます。なるべくバスなどの公共交通機関をご利用ください。



当教会は聖書を中心とするプロテスタント教会です。エホバの証人、統一教会、モルモン教とは一切関係ありません。